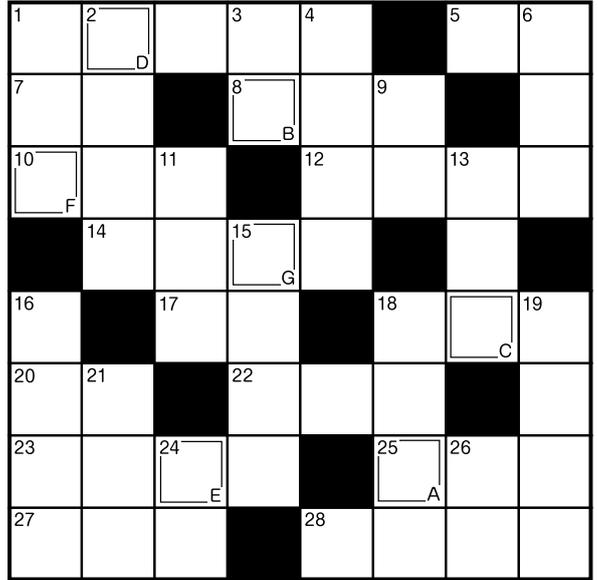


(2026年3月)

ヨコのヒント

- 3月3日は〇〇〇〇〇。桃の節句ともいいます。
- 〇〇は金なり。無駄にはしてはいけません。
- 痛□、全□、□拳、□晴。□に共通して入る漢字の読みは？
- 多様な人種や民族が混じり合い、一つの新しい文化を形成する様子。「アメリカは人種の〇〇〇だ」などと使います。
- 日本最大の湿原で、ラムサール条約にも登録されている、北海道の〇〇〇〇湿原。
- 非常に親しい様子。「〇〇〇〇な付き合い」などと使います。
- 桑を栽培し、蚕を飼育して、繭をとる農業。
- 1〇〇=1000キログラム
- 桃山文化を代表する画家、〇〇〇永徳。代表作は「唐獅子図屏風」。
- 「〇〇に着る」とは、他人の力を利用して威張ること。「親の力を〇〇に着る」などと使います。
- 鎌倉幕府以後、武士のトップで幕府の最高の役職となった「〇〇〇大將軍」。
- 青森市にある〇〇〇〇丸山遺跡は縄文時代の集落跡です。発掘調査により、クリの木を計画的に植えるなど、一種の農耕も行われていたことが明らかになりました。
- 子どもに多かった感染症の一つ。高熱が出て、体に赤い発疹ができます。
- 視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚の五つの感覚のこと。
- 関ヶ原の戦いで西軍を率いた石田〇〇〇〇。徳川家康が率いた東軍に敗れました。



【答え】

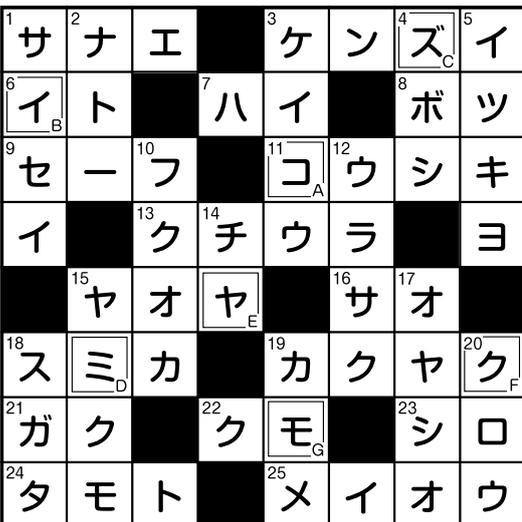
A	B	C	D	E	F	G

- タテのヒント**
- 日本政府が掲げる、核兵器を「持たず、作らず、持ち込ませず」の基本方針を「〇〇〇三原則」といいます。
 - ほかの人に言わずに、こっそり隠しておくこと。
 - 力のある人のひと言で、物事が一気に動く。「〇〇の一言」といいます。
 - 「忙」「情」「性」に共通する部首は〇〇〇〇偏。「心」の形が変わったものです。
 - 空気が地表を押し下す力。単位は「ヘクタパスカル」です。
 - とても忙しい。「正月と一緒に来た」ものは？
 - 液体をろ過するとき、ろ紙と一緒に使う道具。
 - 今年の2月に開催された冬のオリンピック。開催地は、イタリヤ北部の〇〇〇とコルティナ・ダンペッツォでした。
 - 国民が直接あるいは代表者を通して政治にかかわる権利を〇〇〇〇権といいますが。
 - 「〇〇〇〇」の尾上の桜味きにけりとかやまの霞ただすもあらなむ(権中納言匡房)
 - OECDは経済協力〇〇〇〇機構。ほんやりとして気づかない様子。「〇〇〇〇して、スマホを自宅に忘れてしまった」などい使います。
 - 物質が酸素と結びつく変化を〇〇〇〇といいますが。
 - 悪い出来事に遭わないうで済む。「〇〇〇を逃れる」といいます。
 - 「薄」「切れ」「定め」。□に共通して入る漢字の読みは？

前月号の解答と解説

【答え】

A	B	C	D	E	F	G
コ	イ	ズ	ミ	ヤ	ク	モ



★小泉八雲

小泉八雲(英語名: ラフカディオ・ハーン)は、明治時代に活躍した小説家・英文学者です。日本の伝説や幽霊話を題材にした「耳なし芳一」「雪女」「ろくろ首」などを収めた『怪談』や、日本文化を紹介した『知られぬ日本の面影』などの著作で広く知られています。

1850年にギリシャ西部のレフカダ島に生まれ、幼少期をアイルランドで過ごした後、1869年にアメリカに渡り記者となりました。B.H. チェンバレン訳『古事記』を読んで日本文化に興味を抱き、1890年に来日。島根県や熊本県で英語教師を務め、1896年に東京帝国大学(現・東京大学)の英文学講師になりました。松江藩士・小泉家の娘であるセツとは1896年に正式に結婚。帰化して「小泉八雲」と改名しました。1904年に『怪談』を出版しますが、同年9月に心臓発作のため54歳で亡くなりました。

八雲は長く東京・新宿で暮らし、新宿区立大久保小学校脇に終焉の地の石碑が建てられています。近くの「小泉八雲記念公園」(1993年開園)には、レフカダ町との友好都市提携を記念した碑や胸像が設置されています。

ヨコ

- 早苗(さなえ)
- 遣隋(けんずい)
- 糸(いと)
- 胚(はい)
- 没(ぼつ)
- セーフ
- 公式(こうしき)
- 口裏(くちうら)
- 八百屋(やおや)
- さお
- すみか
- 確約(かくやく)
- がく
- クモ
- 白(しろ)
- たもと
- 冥王(めいおう)

タテ

- 再生(さいせい)
- ナトー(NATO)
- 蛍光(けいこう)
- 凶星(ずぼし)
- 一挙(いっきょ)
- 福岡(ふくおか)
- 裏作(うらさく)
- 茶(ちゃ)
- 闇雲(やみくも)
- 親潮(おやしお)
- 姿(すがた)
- かもめ
- 苦勞(くろう)